

体調整え自己ベストを

新谷、齋藤、中川選手の五輪壮行会

学校法人金沢学院の北京オリンピック日本代表選手壮行会は七月十四日、金沢市のホテル日航金沢で開かれました。出席した教職員ら約百九十人がウエイトリフティング男子69キログラム級の新谷義人(法人職員)、同女子69キログラム級の齋藤里香(東高校教員)、水泳・女子高飛び込みの中川真依(金沢学院大学経営情報学部スポーツビジネス学科3年)の三選手を激励しました。



飛田理事長から激励を受ける(右から)新谷、齋藤、中川選手 // ホテル日航金沢

8位入賞：集中する：応援して 3選手が決意

飛田秀一理事長が「体調を整え、怪我をせず本番に臨み、自己ベストを



五輪出場経験のある教職員(右三人)から花束を受けた北京五輪出場選手

出してほしい」と激励しました。谷本正憲知事、須野原雄金沢市副市長(市長代理)がそれぞれ祝辞を送ったのに対し、新谷選手が「8位入賞を目指す、齋藤選手が「一本一本に集中する」、中川選手が「精一杯頑張るの」で応援をお願いします」と決意を述べました。壮行会には石川県ウエイトリフティング協会、同水泳協会の役員らも顔をそろえ、三選手を激励しました。最後に三選手は五輪出場経験のある渡辺涼子准教授(バルセロナ・柔道)、板倉美紀職員(同・陸上競歩)古童子講師(シドニー・トランポリン6位)から花束を受け、改めて健闘を誓いました。

新谷、齋藤の両選手は八月一日、中川選手は三日に順次北京に向けて出発します。新谷選手は十二日、齋藤選手は十三日にそれぞれ競技が予定されています。中川選手は二十日に予選、二十一日に準決勝、決勝に臨むことになっています。

英語と国語の連携教育を

文学部公開講座

金沢学院大学文学部の公開講座「日本の英語教育を考える」は七月二十日、金沢市の石川四高記念文化交流館で開かれました。大場昌也教授が、新しい英語学習法、音か文字か、川畑松晴教授が「アジアの英語教育から学ぶ 日本の英語教育の行方」の演題でそれぞれ講演しました。写真下。

このうち川畑教授は中国、韓国、ベトナムなど近隣諸国の英語教育の現状を一覧表で説明し、小



学校では、国語と連携させた言語教育が望ましい」と話しました。

甲子園の道は8強まで
第90回全国高校野球選手権記念石川大会に出場した金沢学院東高校チームは、準々決勝で金沢に敗れ、甲子園大会出場は果たせませ



対金沢戦で反撃のヒットを放つ東高校ナイン = 金沢市民野球場

んでした。東高校は1回戦で鵬学園に5-1、2回戦は金沢辰巳丘に3-2、3回戦は小松に1-0で勝ち、昨年夏に続いて8強以上に進出しました。しかし、準々決勝では金沢の再三の好守にも阻まれ、競り負けました。

来月10日にOC

金沢学院大学・短期大学の2008オープンキャンパス第二回は八月十日に行われ、詳しくは入試広報部、電話076(22)88333へ。